

大東大原水かけ祭り

2/11 (土)



多くの観光客でにぎわった昨年の「大東大原水かけ祭り」



装束もりりしい加勢人

■**火防祈願として始まった祭り**
 厳寒の2月11日、大東地域で340年以上も続いている「大東大原水かけ祭り」は、江戸の大火(1657年)をきっかけに火防祈願として始まったといわれています。現在では厄払いの意味合いが強くなり、県内外から200人以上の参加があります。

■**駆け抜ける裸男に一斉に冷水**
 祭り当日は、朝から手踊りや太鼓山車などのパレードでにぎわいますが、祭りのメインは水かけ。白木綿の腹巻きにわらじ履きの裸男たちが大原八幡神社での祈禱(きとう)後市街地に集合、午後3時の花火を合図に目抜き通りに一斉に飛び出し、沿道に待ち構えた観客が容赦なく冷水を浴びせかけます。紅潮した肌に熱せられた水が蒸気となりもうもうと立ち上がる様は圧巻。約5

■**祭りの主な日程**

- 9:00～ 仮装手踊り
- 11:10～ 大しめ縄奉納市内行進(大原地区)
- 12:10～ 厄払い、火防祈願(大原八幡神社)
- 12:40～ まとい振り、太鼓山車、みこしパレードなど
- 14:35～ 祈禱(大原八幡神社)
- 15:00～ 水かけ開始(15:50終了予定)

体感参加者募集中

「大東大原水かけ祭り」に、あなたも体感参加しませんか。参加希望の方は、2月5日(日)までに電話またはファクスで申し込みください。参加は無料。なお、わらじと装束のセットが必要な方は、当日大原公民館で販売します(4500円)。公民館での受け入れ(祭り後のお風呂サービスがあります)は先着80人です。また、参加者は、指定の「パンツ」や「はちまき」「ほおかむり」を身につけること(色柄物やふんどしは禁止)になっているほか、いくつかの注意事項がありますので、事前に確認願います。

◎**問い合わせ先・申込先**

大東大原水かけ祭り保存会(大原公民館)
 ☎72-2282 FAX72-3965

00メートルを5区間に分けて体制を立て直しながら駆け抜けた後、帰路は各年賀会事務所前で輪になり仕上げの「納め水」を浴びせます。

男の子が独特の装束をまとった加勢人(かせつとも)もりりしく、鹿踊り、仮装手踊り、太鼓演奏など見どころ満載で、観光客も一日中楽しめるほか、被写体にも

事欠かないことからカメラマンにとっても絶好の腕試しの場となっています。



大原商業高生による鹿踊り

市・県民税、確定申告

農業所得簡易計算で申告される方へ

◎**問い合わせ先**
 本庁税務課市民税係
 各支所市民課税務係

平成17年分農業所得簡易計算の所得率などは次のとおりとなります。農業所得簡易計算で申告される方はこれを適用してください。

◎**所得率**

種 目	所得率
水 稻	17%

◎**参考・家事消費等の基準金額**

項 目	基準金額
保有米60キログラム当たり単価	1万2778円
自家用畑の10アール当たり収入金額	10万9050円

※申告は原則として収支計算ですが、①水稻の作付面積が2ヘクタール未満②牛・野菜などの販売をしていない③収支計算で申告したことがない方で収支計算での申告が困難一のすべてを満たす方が簡易申告で申告できることとなっています。※家事消費などの金額は、他に販売する場合の価格での計算が原則です。米や野菜を販売している場合は、その平均の単価で計算してください。